

豊島区地域支援協議会

就労支援部会 研修案

仮題

「地域で障がい者雇用をより進めていくために」

1. 研修について

① 令和 6 年 5 月頃

② 内容

- ・ 障害者雇用に積極的と思われる企業様をお呼びし、「企業側から求める支援者の役割」「障害者雇用によるメリット」などを数名のパネリスト各々に話をしてもらう。
- ・ 司会進行役を決めて、基本は台本通りに進めていく
- ・ 事前に質問を回収しておき、その回答をもらう
- ・ 参加人数次第だが、10 名程度の参加者とパネリスト 1 名で小グループを作り、「もう少し詳しい話をしてもらう」時間を作る。
- ・ もにす認定企業も呼べればお願いする
- ・ 出来れば、付き合いのある企業さまにも出席してもらえるような内容にする
- ・ 協議会の本会の委員である初瀬さんにもアドバイスをもらっては？（どの部分に関わってもらえるか）

③ 何を聞きたいか

- ・ 障害者雇用をしようと考えたきっかけ等
- ・ 企業から見て支援者には何をしてもらいたいのか
- ・ 逆にしてもらいたくない事、余計な事はどんなことか
- ・ どういう当事者を求めているか（障害の種別や程度ではなく、人物像として）
- ・ どんなところを見て、採用を決断しているか
- ・ キャリアアップについてどう考えているか
- ・ 雇用して良かった事はどんなことがあったか
- ・ 担当者が変わった場合の注意している部分
- ・ 合理的配慮について、どんな配慮をしているか
- ・ 障害者雇用者のキャリアアップの仕組みはあるのか
- ・ 社内のサポート体制について（業務のサポート体制、定着のために行っている内容・仕組み等）
- ・ 現在直面している課題もしくは今後直面しうる課題（あれば）
- ・ 雇用の失敗例など（あれば）
- ・ ジョブコーチの活用例(あれば)
- ・ 障害者職業生活相談員の選任、配置、業務内容について(事例あれば)
- ・ 担当者は一人か、複数人か、役割を分けるなどしているか

★検討すべき事項

① 日時、場所の確定

② 誰がどこに依頼をするのか（もにす企業を何社呼べるか）

豊島区のもにす認定を受けている HITOWA ソーシャルワークス様に
打診する場合、声がけできます。

③ パネリストの企業様の数

2～3社 内諾いただいた状況次第で少なくとも2社以上がよいかと思います

④ 研修の題名検討

⑤ 当日の全体の流れ

⑥ 台本作成（障害者雇用を考えている企業が喜ぶ内容になるように）

⑦ アンケートの内容（参加者に配るアンケート）

⑧ グループワークをする場合の内容とゴール設定

グループごとに参加者とパネリストで双方向に事例など出し合い、共通する課題や対処法を抽出し
最後に各々発表？

⑨ チラシ作成をどうするか

⑩